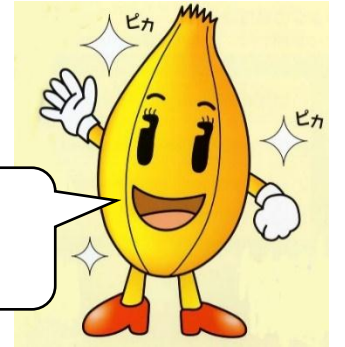


大麦栽培管理情報 (第 1 号)

大麦の収量・品質向上のポイントは、初期生育の確保です！
排水対策等の基本技術の徹底で、**適正苗立数を確保し、**
高収量・高品質な大麦を生産しましょう！



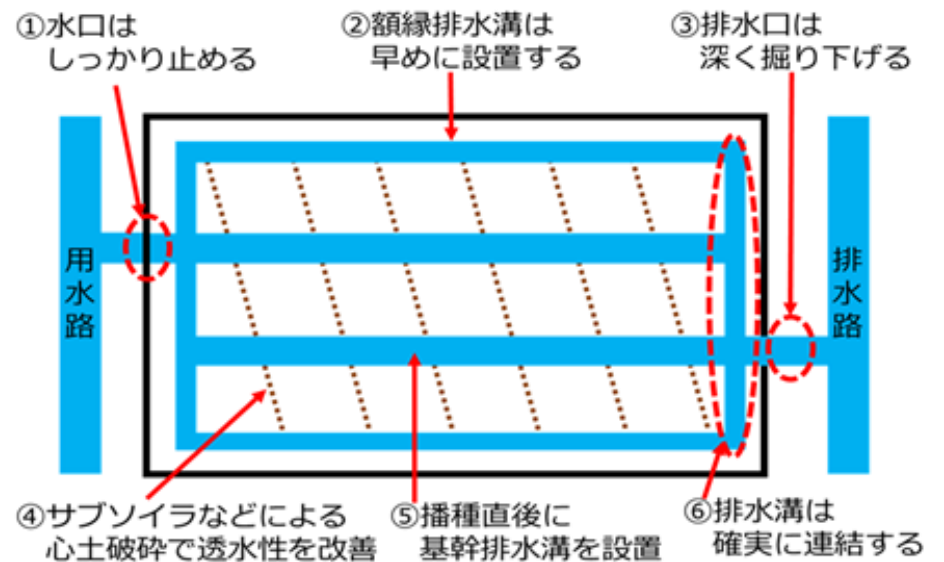
大麦栽培の基本は
排水対策の徹底!!

1 圃場準備 (排水対策の徹底)

排水対策や碎土率の良し悪しが、その後の大麦の生育に大きく影響します。
稲刈直後に、次の排水対策を確実に実施し、**速やかに圃場を乾かしましょう。**

ポイント

- 水口はしっかり止める。
- 額縁排水溝は、幅 30 cm、深 20 cm 以上のしっかりとした溝に仕上げる。
- 排水口を低く掘り下げるとともに、溝に水が溜まらないよう排水溝を確実に連結する。
- 透水性の向上のため、心土破碎を実施する。
- 播種直後に基幹排水溝を設置する。

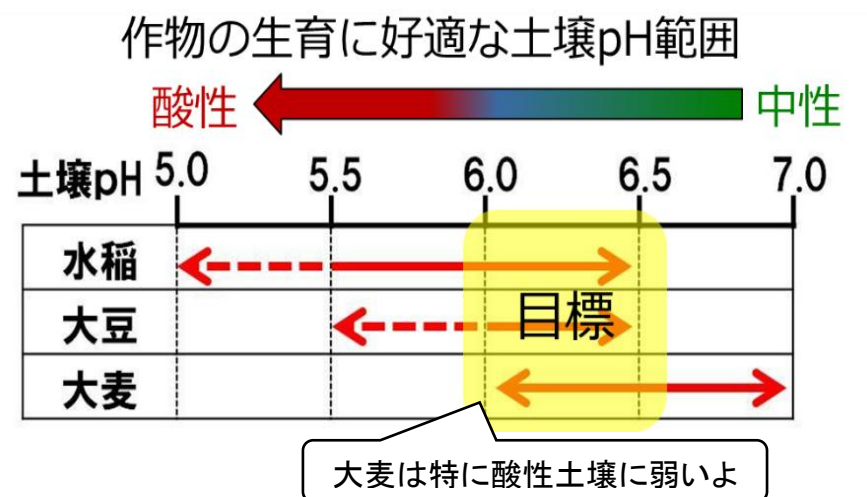


2 土づくりの実践と的確な基肥施用

土づくりの実践や的確な基肥の施用により、適正な生育量に誘導しましょう。

ポイント

- 石灰質資材の施用で土壌 pH6.0 以上を確保する。
- 堆肥等の有機物を積極的に施用する。
- 施肥方法に応じた的確に基肥を施用する。
- 根域を確保するため、15cm 以上の深耕を徹底する。



■ 施用量の目安

施用目的	資材名	10a 当たり施用量	備考
酸度矯正	粒状貝化石	150 ~ 200kg	土壌診断の結果、酸性が強い場合は多めに施用
地力増強	発酵鶏ふん	100 ~ 150kg	
基肥	一発	LP 大麦 48 号	原則、追肥は不要
	分施	ハイマックス燐加安 444	

3 種子準備～播種

(1) 種子の準備

種子更新を徹底するとともに、病害の発生を防止するため、**必ず種子消毒を実施**しましょう。

消毒方法	処理方法
薬剤処理	乾燥種子 10kg 当たり ベンレート Tコート 50g を均一に粉衣
循環式催芽器による温湯浸法	45℃の温湯に入れ、2時間 30分浸漬 (浸漬時間厳守)

(注) 温湯での消毒後は、陰干しで十分に乾燥させる。

(2) 耕起～播種

・ 碎土率向上による出芽・苗立ちの安定のため、**耕起作業は、土の乾きを確認してから実施**するとともに、**耕起～播種・作溝までの一連の作業を1日で行い**ましょう。

・ **畦幅は3m以内とし、溝の幅が30cm、深さが20cm以上のしっかりした溝を設置**するとともに、**排水口に確実に連結**しましょう。

・ ドリル播きでは、湿害を避け、出芽・苗立ちを揃えるため、**播種深度が3cm程度**となるよう調整しましょう。

・ 目標の苗立本数を確保するため、**播種の時期や方法に応じた適正な播種量を厳守**するとともに、**播種作業は、10月上旬までに行い**ましょう。



碎土率が低いと
出芽・苗立ちが不安定
になり、揃いが悪い

碎土率が高いと
出芽・苗立ちが安定
し、揃いが良い

【播種の時期と量の目安】

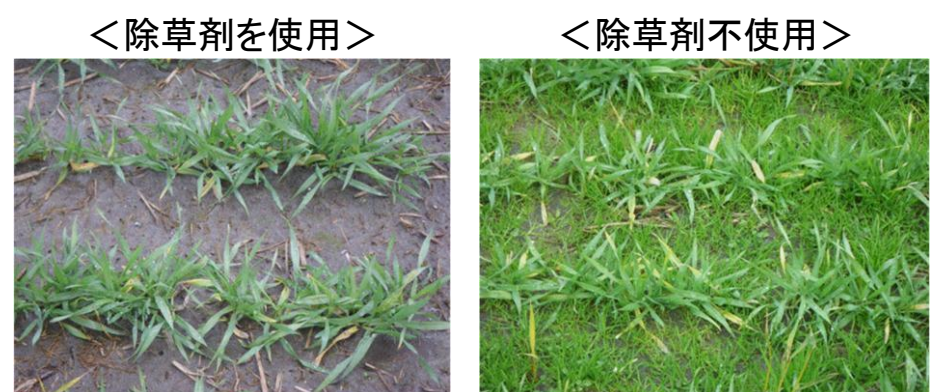
播種時期	目標苗立数 (㎡あたり)	播種量の目安 (10aあたり)	
		ドリル播	表面散播
9/26～30	140本	6.0kg	6.5kg
10/上旬	150本	6.5kg	7.0kg
(10/中旬)	(200本)	(8.5kg)	(9.0kg)

(注) 遅くとも、10月中旬までに播種が完了すること

4 播種後の雑草防除

雑草の発生が多くなると肥料成分が雑草に奪われ、大麦の生育に影響が出るとともに、病害発生の原因にもなります。

雑草発生が多い圃場では除草剤を的確に使用し、生育量を確保しましょう。



【除草剤の使用時期と量の目安】

除草剤名	使用時期	10aあたり散布量	使用方法	適用雑草
トリアノサイド乳剤	播種後発芽前 (雑草発生前)	100ℓ (薬量 300mℓ)	土壌表面 散布	一年生雑草 (ツクサ、カヤツグサ、 キク、アブラナ科を除く)
トリアノサイド粒剤 2.5	播種後発芽前	4～5kg		
ボクサー	播種後～麦2葉期 (雑草発生前～ 雑草発生始期)	100ℓ (薬量 500mℓ)		一年生雑草

(注) 表面散播した圃場では**使用しない**

除草剤使用上の留意点

- ・ 土壌が極端に乾いていると効果が劣るので土壌水分が適正な時に散布する。
- ・ 大雨が予想される場合は、薬害のおそれがあるので**使用しない**。
- ・ 種子が露出していると薬害のおそれがあるので、碎土率を高めるとともに、播種深度3cm程度を目安に、**確実に覆土**するよう注意する。